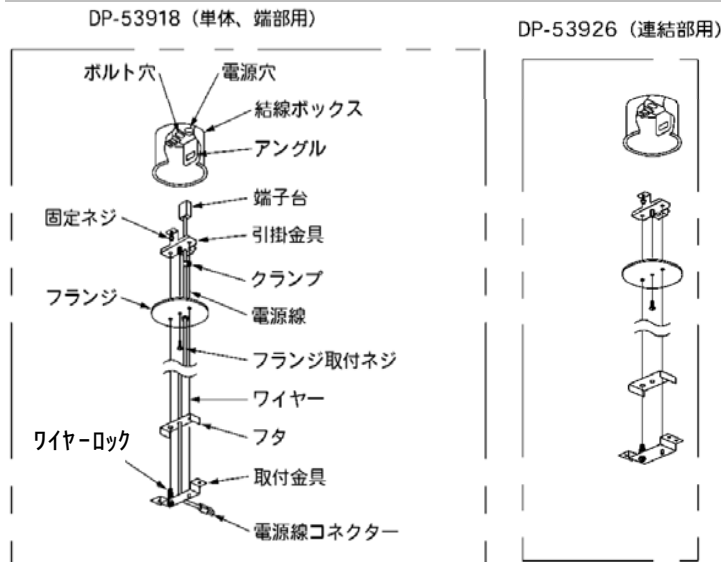


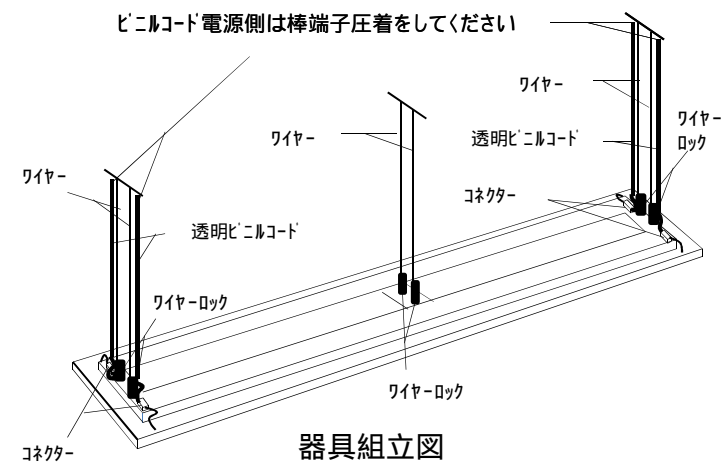
## 仕様

一般通常環境の屋内天井吊下専用器具です。カバーは亚克力製です。取扱いは丁寧に行ってください。AC100/DC24V形器具です。調光器との併用は出来ません。ワイヤーロックで高さ調整は可能です。LEDはバラツキがある為、器具内の個々のLEDや同一型名の器具でも発光色、明るさが若干異なる場合があります。予めご了承ください。

## 各部の名称

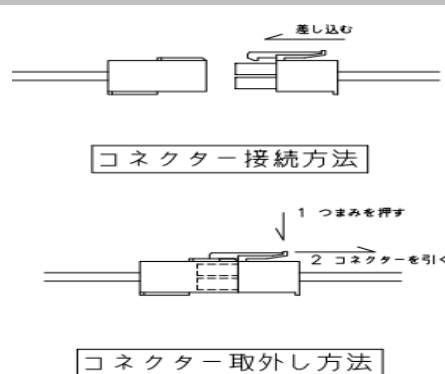


(備考:この製品には各部名称の内、取付金具及びフタは付いておりません)



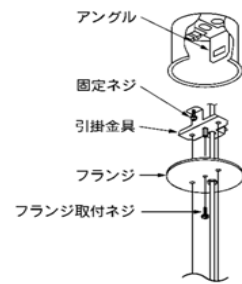
L=1765タイプは、吊り具3箇所使用になります。  
L=760タイプ・L=1165タイプは、吊り具2箇所使用になります。

## コネクター取扱い説明

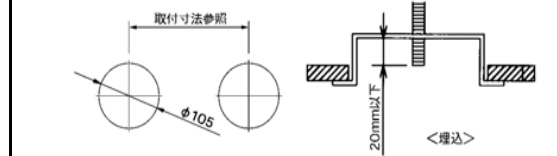


## 取付方法

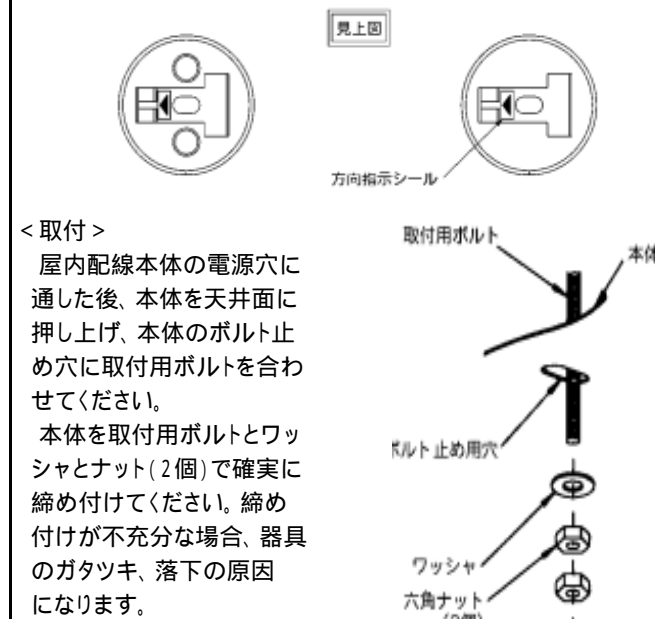
1. 吊具の取外し  
フランジ取付ネジを外してフランジを下に下げてください。固定ネジをゆるめて引っかけ金具をアングルから外してください



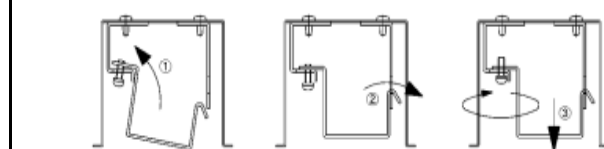
2. 吊具の取付  
つり木等で補強された野縁、またはこれと同等以上の強度、構造を有する場所に施工してください。取付用ボルトの出しろは、20mm以下にしてください。  
<取付面の確認>  
天井面に下図の埋込穴を開けてください。取付部の強度が弱い場合には、補強材で補強してください。取付用ボルトの出しろは、20mm以下にしてください。



<取付方向の確認>  
取付時には下図のようにシールの向きを合わせて取付てください。不備がありますとワイヤーがねじれた状態になります。



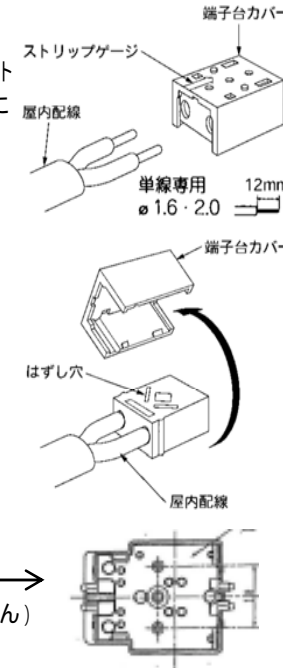
## 吊具の組立方法



アングルのミゾに沿って引っかけ金具のネジを引っかけてください。引っかけ金具のツメをアングルの穴に押し込んで引っかけてください。引っかけ金具を下に引きながら固定ネジを確実にドライバーで締め込んでください。

## 3. 電源の接続

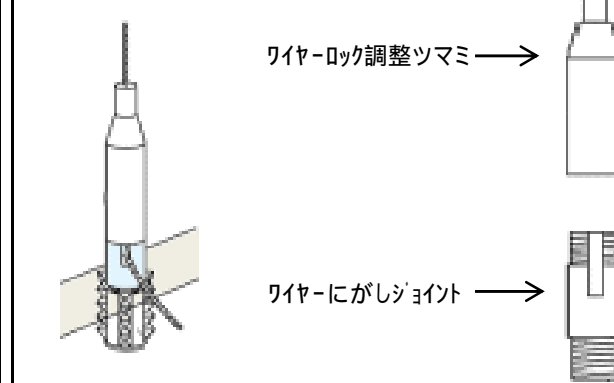
屋内配線、適合電線をご使用ください。屋内配線は、端子台カバーのストリップゲージに合わせ、指定の長さに段むきしてください。屋内配線は、押入面に直角に奥まで確実に差し込んでください。(一度引っ張り、接続を確認してください。屋内配線を外す時は、必ず電源を切ってください。図のように端子台カバーを外し、ドライバーなどのはずし穴に差し込んで、屋内配線を引き抜いてください。図を参考に端子台カバーを、取外しの逆の手順で確実に取付けてください(端子台カバーが確実に取り付けられていることを確認してください。)  
電源送り付き差込コネクター → (L=760タイプには付属されておりません)



## 4. 本体の取り付け

本体のネジ穴にワイヤーにがしジョイントをねじ込み、固定してください。ワイヤーロックの調整ツマミ上部の出っ張り側からワイヤーを通し、ワイヤーにがしジョイント上部切り込みにワイヤーを沿わせ、挟み込むようにワイヤーロック調整ツマミを接続してください。(ワイヤー取付後姿図参照)  
吊具の電源コネクターと本体側コネクターを接続してください。

## ワイヤー取付後姿図



## 5. ワイヤーと電源線の長さの調整

上昇させる時は調整ツマミ上部の出っ張りを、押し込みながらワイヤーをにがしジョイントに送り込んでください。下降させる時は調整ツマミ上部の出っ張りを、押し込みながらワイヤーをにがしジョイントから挿入してください。調整ツマミ上部の出っ張りが、必ず出ている状態で使用してください。電源線の長さはクランプのネジを緩めて調整してください。フランジを押し上げ、フランジ取り付けネジで確実に固定してください。

## 6. 使用前の確認

取付け状態、点灯状態を確認してください。

## ご使用方法

点灯、消灯は、壁スイッチで操作してください。

## おことわり

電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。インバータ器具の近くで、ほかの光高周波式リモコン器具を使用しないでください。誤作動の原因になります。インバータ器具の近くで、ラジオ(AM)を使用しないでください。雑音の原因になります。取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付け面の乾燥が不十分だと、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因になります。器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。点灯時、消灯後には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。

## 保守・点検

1. 6カ月に1回程度、清掃および点検を行なうことをおすすめします。点検は、次の項目にもとずいて行ってください。

### (1) 点検事項

正常に点灯しますか。  
スイッチは、正常に切り替わりますか。  
天井との取付け部、各製品の合わせ目に異常なガタつき、ゆるみはありませんか。  
可動部は異常な動作しますか。  
異常な臭い、音、発熱はありませんか。  
ガラス、プラスチック部品等に、ヒビ、割れ、変形等が発生していませんか。  
不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社にご相談ください。

### (2) 清掃

器具にホコリがつくと、明るさを損なうばかりではなく、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	30~40の薄めた中性洗剤を使用し、硬く絞った布等でホコリ、汚れ等を、落として下さい。水滴が付きますと、器具自体の腐食につながるため、水滴等は、必ずふき取ってください。

ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

## 2. 異常時の処理

定期点検により発見された不具合のうち、消耗部品(LED、電源装置等)、交換部品(パネル、パッキン等)は、速やかに販売店、工事店にご相談のうえ、適合品と交換してください。

また、定格電圧、常温でのご使用の場合、配線部品等は、約8年~10年、電源装置は、約4年~5年が交換の目安です。新規の器具と交換するか、または当社にご相談ください。